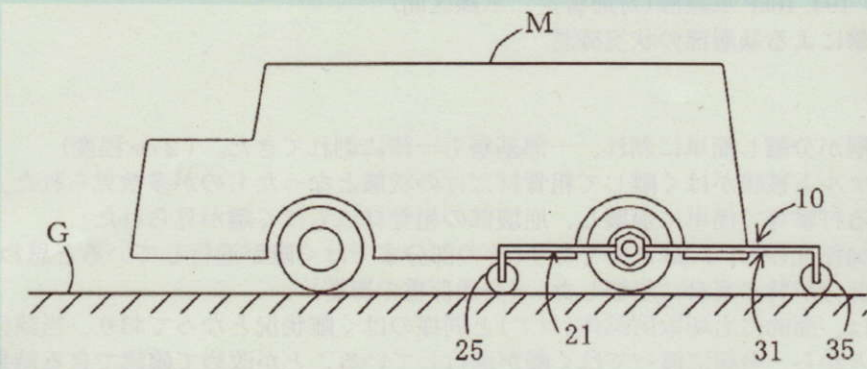


# ホイール取付型 IRI による測定技術の現地検証

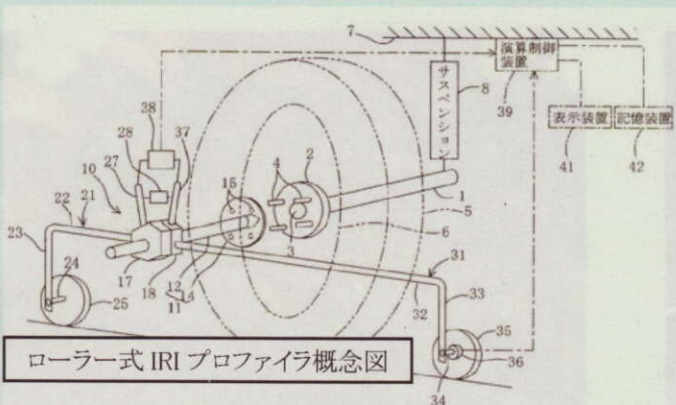
舗装の路面性状を表す指標の一つである路面の平坦性(IRI：乗り心地)については、舗装修繕計画検討の一環で、路面性状測定車により1回/年の測定を実施しています。ただし、測定は支社管内の全路線を3ブロックに分け、各ブロックをローテーションで測定するため、同一区間でみた場合は1回/3年の測定頻度となっています。

支社管内では、冬期間の凍上による路面不陸の発生などによる時期変動が大きく、道路を管理する上で、必要ときにタイムリーに路面の平坦性を定量評価することが求められています。

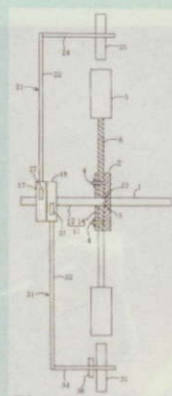
そこで、札幌技術事務所では普通自動車(今回は道路パトロール車)のホイールに直接取付けるタイプのローラー式 IRI プロファイラ(測定速度 80km/h まで対応可)の導入検討を行っています。8月11日に道東道追分町 IC から夕張 IC 間の試験測定を行い、7月に中央研究所が実施した路面性状測定車での IRI 結果と比較検証を行っています。



測定車両の全景



ローラー式 IRI プロファイラ概念図



ローラーの拡大写真

## トマムインターチェンジより帯広まで50分、札幌まで100分

釧路工事事務所の安全パトロールが7月27日に行われ、JRで移動途中、トマム駅のホーム内でNEXCO 東日本の道東道建設中の広報看板を目にした。列車の窓越しからよく見え、PR効果が伺えた。



トマム駅ホーム内より撮影